

けいはん医療生活協同組合憲章

私たちは、平和を守り「ずっと元気にこの街で」のスローガンのもと、明るい街づくりや健康づくりが実現できる、民主的な医療生協をめざします。

けいはん 医療生協ニュース

発行2018年4月1日 No.272

けいはん医療生活協同組合 組織部 〒571-0061 門真市朝日町20-15 ☎ 072(882)5025 FAX 072(882)5048 URL http://www.keihan-healthcoop.net e-mail info@keihan-healthcoop.net

組合員現勢

2018年3月1日現在 世帯数 8,499世帯 組合員数 12,177名 出資金 4億35,850千円

～おおさかまるごと～

健康チャレンジ ゴール集会

2・27

支部が主役

健康づくりで 地域につながるろう

ドーンセンターでゴール集会が開催され380名が集い、けいはん医療生協からは15名が参加。各医療生協から取り組み報告があり、みらいクリニック・今井院長のあいっへ体操等を楽しく学びました。



メイン講師の今井院長先生



会場いっぱいの参加者



けいはん医療生協の取り組みを報告する岡委員長

2017年度のまとめでは、16年度より参加者が増え、大きく広がったと報告。18年度に向け一人の参加が提起されました。けいはん医療生協は2年続けて目標を大きく突破し、17年度は1431人が参加。中断防止にと「励ましカード」を届ける訪問にも取り組み、グループエントリーから班づくりをと報告しました。今井院長の講演では、呼吸は色々な病気の発症のもとになる。まずは鼻呼吸をし、喉の力を強めるために「あいっへ体操」を、呼吸する人は口にテープを貼って寝る、等々の全体的な健康づくりが話されました。

最後に若手職員のリードで、笑いヨガを会場一杯の参加者で楽しみました。 委員長 岡 里美

学んだ人達が「あいっへ体操」「笑いヨガ」を班会・班づくりに活かして、支部が軸となって地域まるごと健康づくりを楽しく広げたいと



若手職員のリードで“笑いヨガ”

介護保険はどう変わるの？ 総合事業について

82名参加

オープン講座

3・3

講師は日下部雅喜氏 (大阪社保協・介護保険対策委員長)

要支援は「手始め」、次は介護へ	
要介護状態区分の人数割合と給付費割合	
要支援1	174万人(28.2%)
要支援2	給付6%
要介護1	229万人(37.1%)
要介護2	給付30%
要介護3	215万人(34.8%)
要介護4	給付64%
要介護5	



質問する参加者



熱弁をふるう講師の日下部氏

今回の講座は、介護保険制度がなぜ変えられるの？総合事業って私たちにどんな影響があるの？などの疑問に答えていただけの学習会でした。介護の財源をさらに抑え込もうとする国の思惑に怒り心頭です。今後、保険料は取られ、利用ができない介護難民がさらに増える、それだけではなく介護事業所の運営も厳しくなる危機感を持ちました。介護保険制度改善に歯止めをかけ、安心の老後を迎えるために、多くの市民と対話し絆をつくり、けいはん医療生協を大きくしていくことが必要だと痛感しました。



参加者も元気いっぱい

まちづくり委員会 理事 寺本 とも子